

綾部市営駐車場経営戦略

目次

I	綾部市営駐車場経営戦略について	2
I-1	目的	2
I-2	計画期間	2
I-3	運用	2
II	綾部市営駐車場の現状と課題	3
II-1	自動車保有台数の推移	3
II-2	路外駐車場の設置状況	4
II-3	綾部市営駐車場の概要	5
II-3-(1)	事業形態等（※令和6年度現況）	5
II-3-(2)	料金体系	6
II-3-(3)	利用台数の推移	7
II-4-(1)	経営指標の設定	9
II-4-(2)	分析	10
II-4-(3)	施設整備・設備投資の状況	13
II-4-(4)	民間活用の状況	14
II-5	課題	15
III	経営の基本方針	17
IV	投資・財政計画	18
IV-1	歳入	18
IV-2	歳出	18
IV-2-(1)	経常経費	18
IV-2-(2)	設備投資等	19
IV-3	収支計画	20
V	効率化・経営健全化の取組	22
V-1	駐車場の統廃合	22
V-2	利用しやすい料金設定	22
V-3	天神町駐車場廃止後の土地利用	25

団 体 名 綾部市
 事 業 名 綾部市駐車場特別会計
 策 定 日 令和6年 8月26日
 計画期間 令和6年度～令和15年度

I 綾部市営駐車場経営戦略について

I-1 目的

本市の駐車場事業はＪＲ綾部駅を中心に天神町駐車場、綾部駅南駐車場、綾部駅北駐車場の３駐車場を配置し、鉄道利用者や綾部駅周辺の施設利用者の駐車場機能を担うほか、中心市街地の事業所への通勤者、周辺居住者駐車場として運営しています。

中心市街地の都市機能の充実や公共交通における交通結節点としての機能に加え、違法駐車対策など都市施設として欠くことのできない重要な施設であり、将来にわたって事業を安定的に継続することを目的に中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定します。

I-2 計画期間

本計画の計画期間は、中長期的な見通しを踏まえつつ令和６年度から令和１５年度までとします。

I-3 運用

計画期間の１０年間は本計画を基に運営を行いますが、５年ごとに進捗状況等についての評価を行った上で、必要に応じ計画の見直しを行います。ただし、綾部市総合計画など上位計画の改定や社会情勢の変化に対応するため、随時の見直しも検討します。

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～
綾部市総合計画			第6次総合計画後期基本計画					第7次総合計画			
綾部市都市計画マスタープラン	第2次都市計画マスタープラン					▼中間見直し 第2次綾部市都市計画マスタープラン					▼改定 (立地適正化計画と統合予定)
綾部市立地適正化計画			▼見直し	▼見直し					第3次都市 計画マ スター プラン		
綾部市営駐車場経営戦略	(▼見直し)					▼評価・見直し			(▼見直し)		▼改定

Ⅱ 綾部市営駐車場の現状と課題

Ⅱ－１ 自動車保有台数の推移

本市における自動車登録台数は、令和３年度までの１０年間でやや減少傾向となっています。

また、市営駐車場の主な駐車対象車両となる乗用車、小型トラック、軽自動車の登録台数の合計も微減となっています。

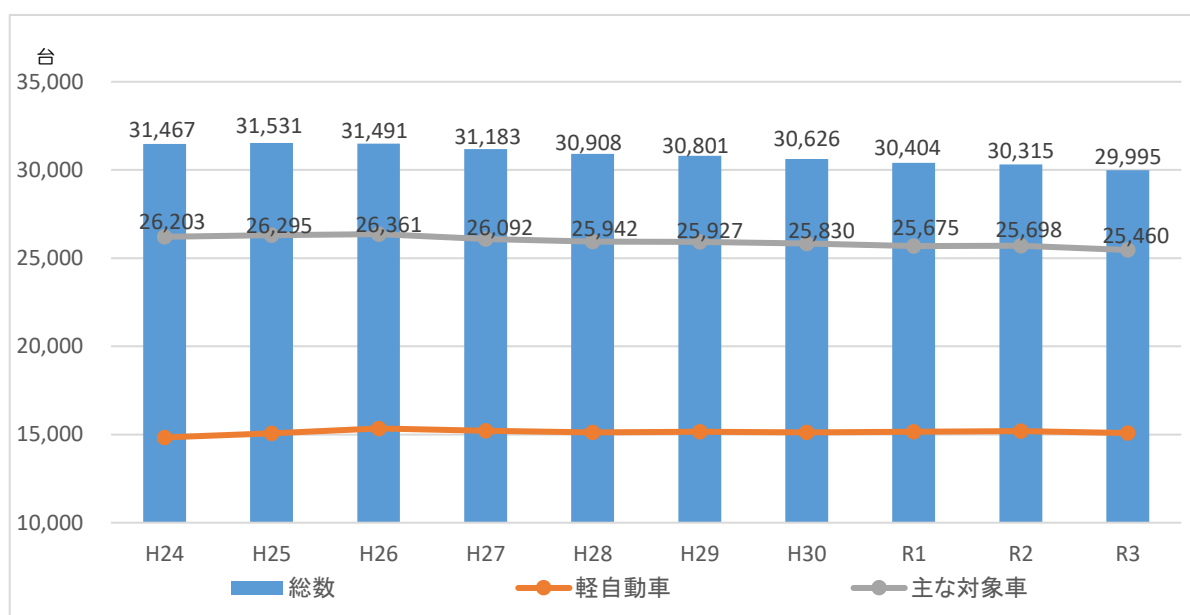
【表１】綾部市における自動車登録台数の推移

(単位：台)

	総数	自動車								原動機付自転車	主な対象車
		乗用車		トラック		バス	特殊自動車	軽自動車	その他		
		普通	小型	普通	小型						
平成24年度	31,467	4,322	6,177	665	869	64	392	14,835	4,143	3,256	26,203
平成25年度	31,531	4,363	6,017	664	845	64	402	15,070	4,106	3,064	26,295
平成26年度	31,491	4,350	5,845	664	823	64	406	15,343	3,996	2,928	26,361
平成27年度	31,183	4,404	5,669	672	807	68	410	15,212	3,941	2,821	26,092
平成28年度	30,908	4,471	5,555	674	793	66	400	15,123	3,826	2,686	25,942
平成29年度	30,801	4,548	5,435	698	784	64	414	15,160	3,698	2,544	25,927
平成30年度	30,626	4,648	5,258	721	796	62	405	15,128	3,608	2,385	25,830
令和元年度	30,404	4,717	5,022	713	787	59	418	15,149	3,539	2,245	25,675
令和2年度	30,315	4,820	4,914	733	773	55	395	15,191	3,434	2,093	25,698
令和3年度	29,995	4,876	4,723	741	776	54	414	15,085	3,326	2,013	25,460

あやべ統計書

【グラフ１】綾部市における自動車登録台数の推移



小型乗用車：全長 4.7m、全幅 1.7m、全高 2.0m、排気量 2000cc 以下

普通乗用車：乗車定員 10 名以下、小型乗用車の規格を超えるもの

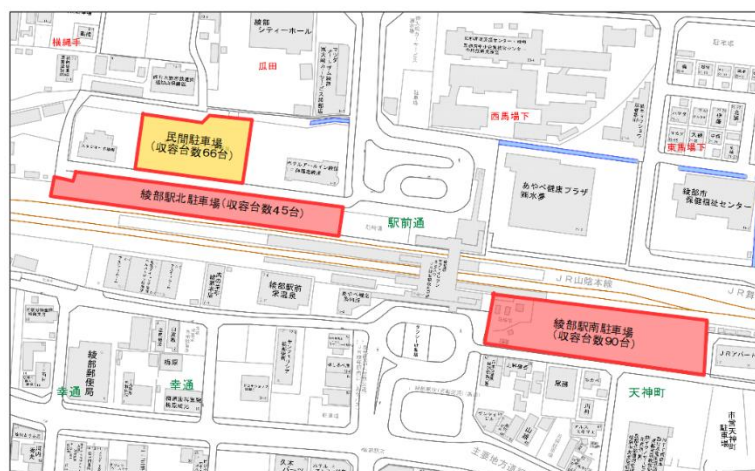
小型トラック：小型自動車の規格に該当するトラック

Ⅱ－２ 路外駐車場の設置状況

ア. 時間貸し路外駐車場

綾部市内に立地する時間貸しの駐車場は市営駐車場（綾部駅南駐車場、綾部駅北駐車場）の外は、民間駐車場が１施設（６６台収容）のみで、いずれも綾部駅周辺に立地しています。

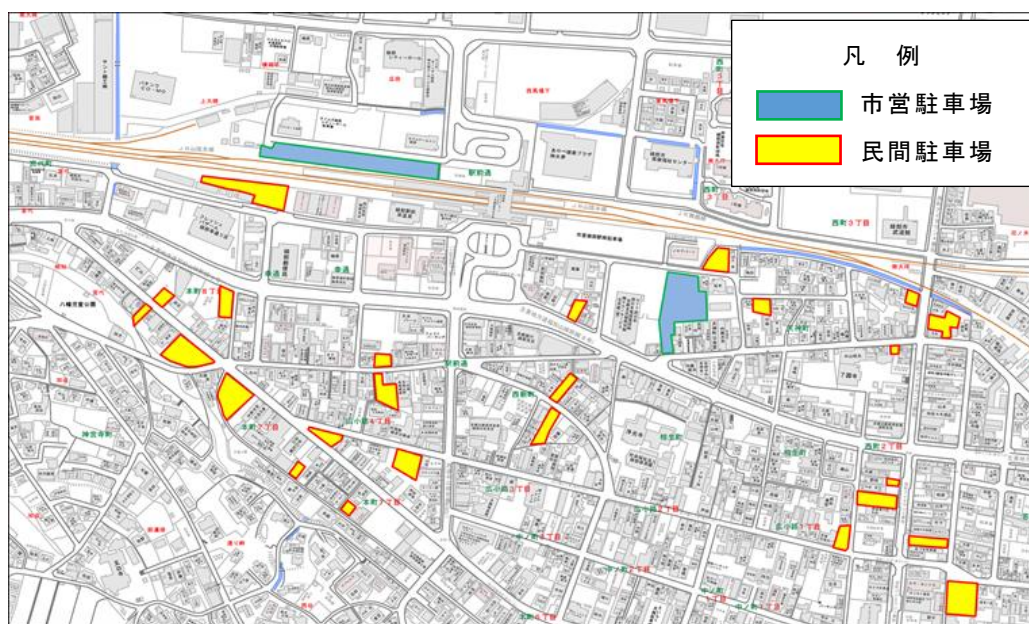
【図１】時間貸し駐車場の状況



イ. 月極駐車場

綾部駅周辺を中心に市街地において、空き地利用などによる月極駐車場が多く存在しています。

【図２】綾部駅周辺の月極駐車場の状況（令和６年４月調査）



Ⅱ－３ 綾部市営駐車場の概要

Ⅱ－３－（１）事業形態等（※令和６年度現況）

【表２】天神町駐車場（定期駐車）

施設名	綾部市営 天神町駐車場	事業開始年度 （施設整備年度）	昭和４８年度 （平成２３年度）
種類	平面自走式	構造	広場式
位置	天神町５１番	建設後（整備後）の 経過年数	１２年
面積	2,049.36 ㎡	収容台数	５６台
営業時間	２４時間	取扱種別	定期駐車

【表３】綾部駅南駐車場（普通駐車）

施設名	綾部市営 綾部駅南駐車場	事業開始年度 （施設整備年度）	平成６年度 （平成６年度）
種類	平面自走式	構造	広場式
位置	駅前通西馬場下 ４番地の３	建設後（建替後）の 経過年数	２９年
面積	3,548 ㎡	収容台数	９０台
営業時間	２４時間	取扱種別	普通駐車

【表４】綾部駅北駐車場（定期駐車・普通駐車）

施設名	綾部市営 綾部駅北駐車場	事業開始年度 （施設整備年度）	平成１１年度 （平成２１年度）
種類	平面自走式	構造	広場式
位置	井倉新町瓜田 １番地の９	建設後（整備後）の 経過年数	１４年
面積	2,020.36 ㎡	収容台数	６５台
営業時間	２４時間	取扱種別	普通駐車 定期駐車

Ⅱ－３－（２）料金体系

【表５】定期駐車料金

	月額	適用する駐車場
定期駐車	５，８００円	天神町駐車場 綾部駅北駐車場

【表６】普通駐車料金

	駐車１回１時間まで	駐車１回１時間を超えるとき１時間ごと	適用する駐車場
普通駐車	２００円	５０円	綾部駅南駐車場 綾部駅北駐車場

【表７】各種利用券

	内容	金額	適用する駐車場
回数駐車券	１セット （５０円券×２２枚）	１，０００円	綾部駅南駐車場 綾部駅北駐車場
回数駐車券 （プリペイドカード）	２，２００円券	２，０００円	綾部駅南駐車場 綾部駅北駐車場
夜間利用駐車券	駐車１回につきチェックインからチェックアウトまで	２００円	綾部駅南駐車場 綾部駅北駐車場 利用は綾部旅館組合加盟の宿泊施設に限る

Ⅱ－３－（３）利用台数の推移

ア) 普通駐車

綾部駅南駐車場（収容台数９０台（H30.10～））と綾部駅北駐車場（収容台数４５台（H30.4～））で運用をしており、それぞれの利用状況は【表８】のとおりです。

令和２年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行による外出自粛や在宅ワークといった働き方の変化から JR 利用者が減少するなど駐車場利用に大きな影響がありました。

令和３年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなり利用者は徐々に増加傾向にありますが、令和元年度以前の水準には達していません。

令和元年度以前は綾部駅南駐車場で約４割、綾部駅北駐車場で約７割をパークアンドレールの利用（JR 利用者）が占めていましたが、令和２年度以降大きく減少しています。

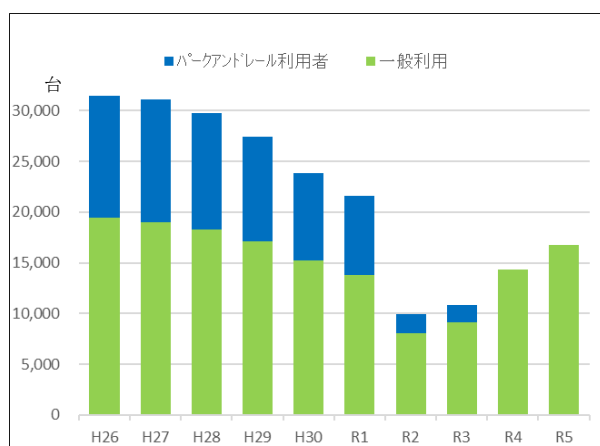
なお、パークアンドレール駐車は令和４年度から制度が廃止となりました。

【表８】普通駐車の利用状況

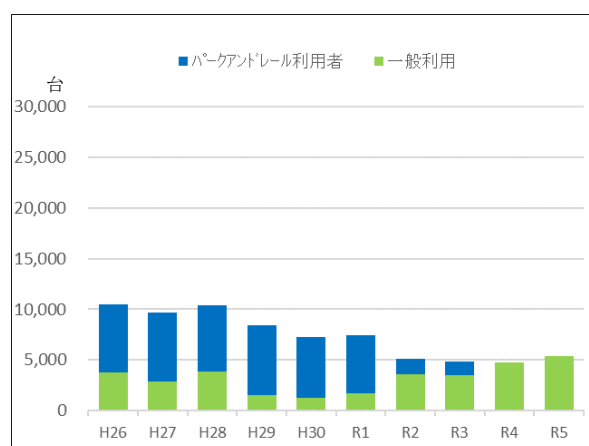
(単位:台)

	駅南駐車場			駅北駐車場		
	総駐車 台数	左のうち		総駐車 台数	左のうち	
		パークアンドレール利用者 台数	割合(%)		パークアンドレール利用者 台数	割合(%)
平成26年度	31,480	12,057	38.3	10,462	6,687	63.9
平成27年度	31,072	12,034	38.7	9,653	6,766	70.1
平成28年度	29,765	11,523	38.7	10,429	6,578	63.1
平成29年度	27,460	10,330	37.6	8,409	6,878	81.8
平成30年度	23,884	8,619	36.1	7,219	6,005	83.2
令和元年度	21,597	7,831	36.3	7,414	5,723	77.2
令和2年度	9,922	1,841	18.6	5,127	1,528	29.8
令和3年度	10,816	1,671	15.4	4,854	1,358	28.0
令和4年度	14,292	0	0.0	4,752	0	0.0
令和5年度	16,743	0	0.0	5,334	0	0.0

【グラフ２】駅南駐車場利用台数の推移



【グラフ３】駅北駐車場利用台数の推移



【表 9】 あやテラス及び綾部市ものづくり交流館利用者による駐車台数の状況

	綾部駅南駐車場			綾部駅北駐車場		
	普通駐車 利用台数	左のうち、あやテラス・ ものづくり交流館利用者		普通駐車 利用台数	左のうち、あやテラス・ ものづくり交流館利用者	
令和5年12月	1,456台	3台	0.2%	412台	56台	13.6%
令和6年1月	1,183台	3台	0.3%	532台	175台	32.9%
令和6年2月	1,048台	11台	1.0%	433台	145台	33.5%
令和6年3月	1,401台	18台	1.3%	497台	79台	15.9%
令和6年4月	1,409台	17台	1.2%	466台	71台	15.2%

イ) 定期駐車

天神町駐車場（収容台数56台）と綾部駅北駐車場（収容台数30台（R3.2～））で運用しており、利用状況は【表10】のとおりです。

天神町駐車場は当初満車に近い状態を維持していましたが、近年利用者の減少が見られます。

綾部駅北駐車場は近年20台前後の利用となっています。

【表 10】 定期駐車の利用状況

(単位:台)

	天神町駐車場			綾部駅北駐車場		
	平均契約台数	収容台数	稼働率(%)	平均契約台数	収容台数	稼働率(%)
平成26年度	55	56	98.2	30	30	100.0
平成27年度	56	56	100.0	30	30	100.0
平成28年度	55	56	98.2	30	30	100.0
平成29年度	54	56	96.4	23	23	100.0
平成30年度	51	56	91.1	19	20	95.0
令和元年度	53	56	94.6	20	20	100.0
令和2年度	48	56	85.7	19	20	95.0
令和3年度	52	56	92.9	17	20	85.0
令和4年度	45	56	80.4	19	20	95.0
令和5年度	50	56	89.3	18	20	90.0

※平成29年度から綾部駅北駐車場定期駐車の利用状況に応じて変更

Ⅱ－４ 経営分析

Ⅱ－４－（１）経営指標の設定

本計画で用いる経営分析の指標は【表１１】のとおりとします。

【表１１】経営分析に用いる指標一覧

項目	説明	算出式
収益的収支比率	料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた額をどの程度賄えているかを表す指標	総収益÷（総費用＋地方債償還金）×１００
他会計補助金比率	総費用に対する他会計補助金の割合	繰入金÷（総費用＋資本的支出）×１００
減価償却前営業利益（EBITDA）	当期純利益（又は純損失）、減価償却費、支払利息等の合計額（営業利益に減価償却費等を加算してキャッシュベースの利益に直した指標）であり、収益が安定して成長しているかどうかを経年評価するための指標	収益的収支差引－他会計繰入金＋支払利息
売上高GOP比率（営業総利益比率）	売上高に対する営業総利益の割合	（営業収益－受託工事収益）－（営業費用－受託工事費）÷（営業収益－受託工事収益）×１００
企業債残高対料金収入比率	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標	（地方債現在高－一般会計等負担額）÷料金収入×１００
稼働率	年間の収容台数に対する駐車台数の割合を１日あたりに直した指標	１日平均駐車台数÷収容台数

Ⅱ－４－（２）分析

ア．天神町駐車場

綾部駅や商業施設に近い場所に位置する天神町駐車場は、市街地への通勤者や鉄道利用者の需要がある他、一部近隣住民の自家用車保管場所としての需要があります。このため継続して満車又は満車に近い状態で安定した収入がありましたが、令和２年度以降利用者が減少しています。理由としては新型コロナウイルス感染症の拡大による、外出自粛や在宅ワーク等の働き方の変化が考えられます。

収益は減っていますが、特別な管理施設を持たない自走式平面駐車場（広場式）であるため営業費用が低く抑えられていることから、収益的収支比率は高い水準を維持しています。

【表１２】天神町駐車場の経営状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益的収支比率(%)	668.1	702.0	706.9	568.8	555.7	590.3	529.2	527.1	620.7	474.6
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	3,096	3,146	3,098	2,915	2,751	2,981	2,719	2,923	2,627	2,719
売上高GOP比率(%)	88.7	89.4	89.6	86.1	85.7	87.2	85.6	85.5	83.9	83.4
企業債残高対料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
稼働率(%)	98.2	100.0	98.2	96.4	91.1	94.6	85.7	92.9	80.4	89.3

イ．綾部駅南駐車場

綾部駅の南東に隣接する綾部駅南駐車場は、交通結節点の駐車場として、また綾部駅の南側唯一の時間貸し駐車場として重要な役割を担っています。

営業費用の主なものは、２４時間の無人営業を行うための駐車管理システム機器のリース料、保守費用及び機械消耗品等の費用で毎年一定の支出が必要になっていますが、十分な収入があったため、収益的収支比率は非常に高い状態で推移してきました。

しかし、令和２年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛や在宅ワーク等の働き方の変化により利用者が減少し、収益的収支比率は１００％を切りました。

令和４年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなってきたこともあり収益的収支比率も回復へと向かっています。

【表１３】綾部駅南駐車場の経営状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益的収支比率(%)	269.7	348.9	325.6	327.9	176.6	165.9	76.2	78.6	109.1	107.7
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	8,645	9,308	8,790	8,053	4,124	3,441	(1,155)	(1,157)	468	446
売上高GOP比率(%)	66.5	74.9	73.0	73.2	47.1	43.8	(26.7)	(22.6)	8.3	11.7
企業債残高対料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
稼働率(%)	86.2	85.1	81.5	75.2	72.7	65.7	30.2	32.9	43.5	51.0

ウ. 綾部駅北駐車場

綾部駅の北西に隣接しており、収容台数65台のうち20～25台程度を定期駐車で運用し、残り区画を普通駐車で運用しています。

いずれも、駅に隣接する立地から、交通結節点の駐車場として鉄道利用者の割合が高くなっていると考えられます。鉄道利用者以外では定期駐車で近隣住民の自家用車保管場所としての利用などがあります。

令和元年度までの状況では、普通駐車においては満車となる場合もあり、また、定期駐車においても、高い需要があり継続して満車又は満車に近い状態を保っていることから一定の収入がある状況となっています。

令和2年度以降は定期駐車、普通駐車ともに利用が減少しています。理由としては新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、外出自粛、テレワーク等の働き方の変化が影響していると考えられます。

営業費用としては綾部駅南駐車場と同じく、駐車管理システムに関する経費が高い割合を占めており一定の支出が必要な状況です。

令和4年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなってきたこともあり収益的収支比率も回復へと向かっています。

また、令和5年の秋にオープンしたあやテラス利用者の駐車場としても需要が高まっています。

【表 1 4】綾部駅北駐車場の経営状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益的収支比率(%)	284.8	171.2	167.3	289.7	234.7	224.7	112.8	101.1	141.7	148.0
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	5,009	3,340	3,036	4,623	3,178	2,958	303	29	1,098	1,393
売上高GOP比率(%)	68.6	45.3	43.9	69.2	61.0	59.3	14.5	4.0	28.1	34.9
企業債残高対 料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
普通駐車稼働率(%)	81.9	75.6	81.6	54.9	49.4	50.8	31.2	29.6	28.9	32.5
定期駐車稼働率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	95.0	100.0	95.0	85.0	95.0	90.0

エ. 駐車場特別会計全体

令和元年度までの状況は、収益的収支比率が200パーセントを超える高い状態を維持できており、他会計からの補助金や企業債残高も無いため、良好な経営状態となっていました。令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響を受け、収益的収支比率が大幅に減少しました。

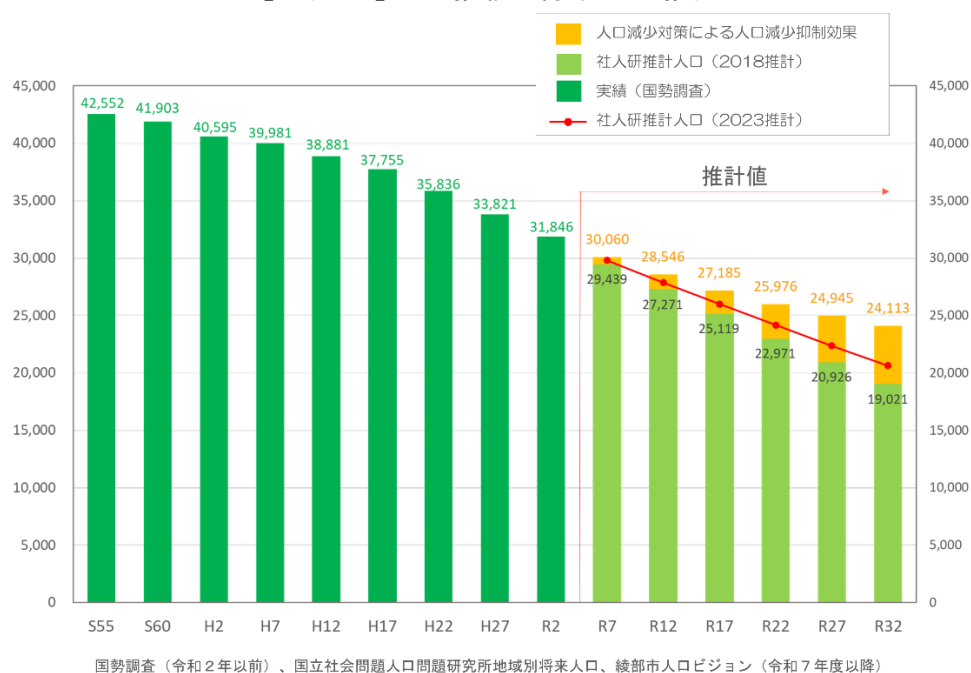
そのような中、定期駐車による一定の収入確保と綾部駅に隣接し各種施設に近いという利便性もあり全体では収益的収支比率は100%以上を保っています。

ただし、今後、新型コロナウイルス感染症の影響からの更なる回復は見込みにくく、加えてグラフ4に示すとおり少子高齢化による人口減少の進行は自動車保有台数にも影響すると考えられるため、中長期的にも駐車場需要が増加していくことは難しい状況です。

【表 15】駐車場特別会計全体の経営状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益の収支比率(%)	300.6	276.5	267.4	336.5	220.4	214.4	123.7	120.8	150.5	148.4
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	16,751	15,794	14,924	15,591	10,054	9,380	1,866	1,795	4,193	4,558
売上高GOP比率(%)	70.4	67.4	66.3	74.0	58.3	57.4	23.4	21.3	33.2	36.5
企業債残高対 料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【グラフ4】人口推移と将来人口推計



Ⅱ－４－（３）施設整備・設備投資の状況

天神町駐車場は昭和５１年の整備後、平成２３年度に全面改築を行っています。

綾部駅南駐車場は平成６年に整備以降、用地の拡大や、利用形態の変更などに伴い、一定の施設整備を行ってきました。

綾部駅北駐車場は平成２０年度に現在の場所に移設整備したもので、現在のところ、老朽化もあまり見られず利用形態の変更もないため、特段の整備は行っていません。

なお、綾部駅南駐車場については綾部市土地開発基金による用地先行取得分の買戻しが完了しておらず、計画的な買戻しを行っています。

令和４年度にはキャッシュレス化に対応するため綾部駅南駐車場及び綾部駅北駐車場に電子決済システムを導入しました。

【表１６】設備投資の状況

(単位:千円)

	天神町	綾部駅南	綾部駅北	合計	適用
平成20年度まで	216,642	97,746	72,229	386,617	用地費・補償費・駐車場設置(整備)工事等
平成21年度			24,230	24,230	綾部駅北駐車場用地買戻し
平成22年度		1,869		1,869	綾部駅南駐輪場拡張
平成23年度	31,801			31,801	天神町立体駐車場解体・地上式駐車場整備
平成24年度		4,240		4,240	綾部駅南駐車場整備(舗装・白線)工事
平成25年度				0	
平成26年度				0	
平成27年度		60,000		60,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
平成28年度		10,000		10,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
平成29年度		10,000		10,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
平成30年度		16,307		16,307	綾部駅南駐車場用地買戻し 綾部駅南駐輪場移設工事
令和元年度		9,000		9,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
令和2年度		1,000		1,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
令和3年度		1,000		1,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
令和4年度		4,870	1,870	6,740	綾部駅南駐車場用地買戻し 電子決済サービス導入事業費
令和5年度				0	

【表１７】綾部駅南駐車場用地先行取得分の買戻し状況

所在地番	面積(㎡)	取得金額(円)	令和5年度までの 買戻し額(円)
駅前通西馬場下4-11	1,134	153,711,432	107,000,000

Ⅱ－４－（４）民間活用状況

市営駐車場の運営は市直営で行っていますが、業務により民間への委託を実施しています。

【表１８】民間委託の状況

		年間委託料
綾部駅南駐車場	警備・緊急対応業務	３３８千円
	自動料金システム保守業務	８５７千円
	警備機器保守業務	４３千円
綾部駅北駐車場	警備・緊急対応業務	３３８千円
	自動料金システム保守業務	８５７千円
	警備機器保守業務	４３千円

Ⅱ-5 課題

ア. 天神町駐車場

現在までのところ需要は高く今後も安定した良好な経営状況で推移することが考えられ、現状では運営上の課題はありません。

ただし、本駐車場は綾部駅や商業施設等にも近い市街地の中心に位置しており、土地利用の可能性も高いため最適な土地利用についても幅広く検討する必要があります。

一方で綾部駅南駐車場、綾部駅北駐車場では、新型コロナウイルス感染症の影響等により普通駐車車の利用が大きく減少し回復も見込めない中で、駐車場全体の効率的な経営を行うためには施設の再編を行う必要があります。

■駐車場の再編と必要性の検討

イ. 綾部駅南駐車場

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響による利用の落ち込み以降緩やかに回復へと向かっていますが、コロナ以前の水準までの回復は見込める状況にありません。

特に、JR利用者にとってはパークアンドレール駐車場制度の廃止により駐車利用料金の軽減が受けられなくなったことが、需要の低下につながっていると考えられます。

このようなことから交通結節点の駐車場として利用しやすい料金設定、及びスムーズな交通手段の接続や安全な駐車場利用のための設備投資による利便性の向上が求められています。

さらに、稼働率が大きく低下していることから、市営駐車場の再編を視野に入れ定期駐車車の導入などによる稼働率の向上も検討する必要があります。

- 利用率向上のための定期駐車車の導入
- 利用しやすい料金設定
- スムーズな交通手段の接続環境の向上
- 安全な駐車場利用のための施設整備

ウ. 綾部駅北駐車場

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響による利用の落ち込み以降、緩やかに回復へと向かっていますが、コロナ以前の水準までの回復は見込める状況にありません。

特に、JR利用者にとってはパークアンドレール駐車場制度の廃止により駐車利用料金の軽減が受けられなくなったことが、需要の低下につながっていると考えられます。

このようなことから、交通結節点の駐車場として利用しやすい料金設定、及びスムーズな交通手段の接続や安全な駐車場利用のための設備投資による利便性の向上が求められています。

なお、令和5年度に開館したあやテラス利用者の駐車場としてのプレゼンスが高まっており、一定の普通駐車枠の確保が必要な状況となっているため、定期駐車枠との比率も状況に応じ柔軟に対応する必要があります。

- 利用しやすい料金設定
- スムーズな交通手段の接続環境の向上
- 安全な駐車場利用のための施設整備

エ. 駐車場特別会計全体

新型コロナウイルス感染症の影響による、使用料の減収は駐車場特別会計全体の財政構造にも、大きな影響を及ぼしています。

これまでの、収益的収支比率が200パーセントを超える状況は、経常経費の倍以上の収入がある状態であり、この収益をもって計画的な用地の買戻しを可能にしてきましたが、令和2年度以降においては使用料収入が令和元年度以前と比べ50パーセント近い減収となり、余裕のある経営が難しくなっています。

健全な運営を続けるためには、駐車場需要の把握とそれに基づく適切な経営戦略が必要です。

- 駐車場の再編と必要性の検討
- 駐車場需要の把握と適切な運用計画の策定
- 駐車場の利便性向上の検討
- 民間活力導入の検討

Ⅲ 経営の基本方針

本市が運営している市営駐車場は、いずれもＪＲ綾部駅に近接し、公共交通機関へのアクセス、駅周辺の商業施設や公共施設などへのアクセスのために重要な都市インフラとして位置づけられるものであり、市内の移動には車が欠かせない中で、引き続き施設を維持していく必要があります。

新型コロナウイルス感染症の影響などにより利用が減少している中で、持続可能な経営を行うために、駐車需要に合わせた駐車場の再編と資産の整理・活用による経営の効率化と利便性の向上による需要喚起によって、健全な運営を維持していくことを目指します。

■利用者の満足度向上

利用しやすい料金設定や施設の整備・維持により、利用者の満足度向上及び利用者増加を目指します。

■事業を持続させるための効率化と計画的な経営

駐車需要を見据え、駐車場の統廃合や料金の見直し、運営経費の適正化に努め、持続可能な安定経営を目指します。

■現行経営体制の維持

事業規模が小さく公営企業会計を適用するには費用対効果に乏しいと考えられること、及び現行の会計処理で財務状況の把握が可能であるため、公営企業会計への移行は行わず、現行の経営体制を維持します。

Ⅳ 投資・財政計画

Ⅳ－１ 歳入

令和２年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、料金収入が大幅に減少しています。令和４年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなってきたこともあり、利用者も徐々に回復していますが、今後さらに増加していく要因が見当たらないため、令和５年度の状況で推移するものとして計画します。

【表１９】今後の収入見込 (単位：千円)

	令和４年度 決算	令和５年度 決算見込	R6～R15 各年度見込額
普通駐車	7,059	8,117	8,117
定期駐車	4,477	4,709	4,709
利用券等	892	1,009	1,009
その他	44	44	44
合計	12,472	13,879	13,879

Ⅳ－２ 歳出

Ⅳ－２－（１）経常経費

市営駐車場の経費については、特殊事情がある場合を除きほぼ固定しています。

歳入については令和５年度の決算額からの推計とするため、経常経費についても令和５年度の歳出を基本に推計します。

職員給与費については過去１０年間の人事院勧告による給与の上昇率の平均値を反映させることとし、令和１５年度まで各年度０．３５％の増加を見込んでいます。

なお、リースにより設置している機器のうち再リースが可能な自動料金システムについては、歳入の状況を鑑み、概ね１５年程度を更新の基準として更新頻度をできる限り減らすことにより経費の抑制に努めます。

【表 2 0】 経常経費の見込み

(単位:千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 決算見込	R6～R15 各年度見込額	
経常経費	職員給与費	1,367	1,506	1,526	過去10年間の人事院勧告平均値により各年度ごとに増額(1,526～1,571)
	需用費				
	消耗品	307	714	714	
	光熱水費	325	284	284	
	修繕費	305	198	198	
	役務費	188	100	100	
	委託料	6,198	2,458	2,458	
	賃借料	3,326	3,386	3,168	機器リース料（機器更新により額は変動 1,623～3,168）
	負担金	24	24	24	
	公課費	0	628	628	売上に係る消費税
小計		12,040	9,298	9,100	
投資的経費	工事請負費	0	0	0	
	公有財産購入	3,000	3,000	4,000	
	小計	3,000	3,000	4,000	
総経費		15,040	12,298	13,100	

【表 2 1】 リース機器更新計画

機器名	前回更新	次回更新予定
駅南駐車場自動料金システム	平成30年7月	令和15年
駅北駐車場自動料金システム	平成23年7月	令和7年
監視カメラシステム	令和2年5月	令和7年・12年

Ⅳ－２－（２） 設備投資等

綾部駅南駐車場用地の買戻しは令和5年度末残高が46,712千円となっており、引き続き運営余剰金の範囲で買戻しを実施します。

なお、令和15年度には運営余剰金の他、駐車場整備基金を活用し買戻しを完了する計画とします。

また、駐輪場の利用環境向上を目的に屋根等の整備計画を検討します。

【表 2 2】 令和6年度以降の設備投資計画

綾部駅南駐車場用地買戻し	令和6～14年度 令和15年度	各年度 4,000千円 10,712千円
綾部駅南駐輪場屋根等整備	令和7年度	31,000千円

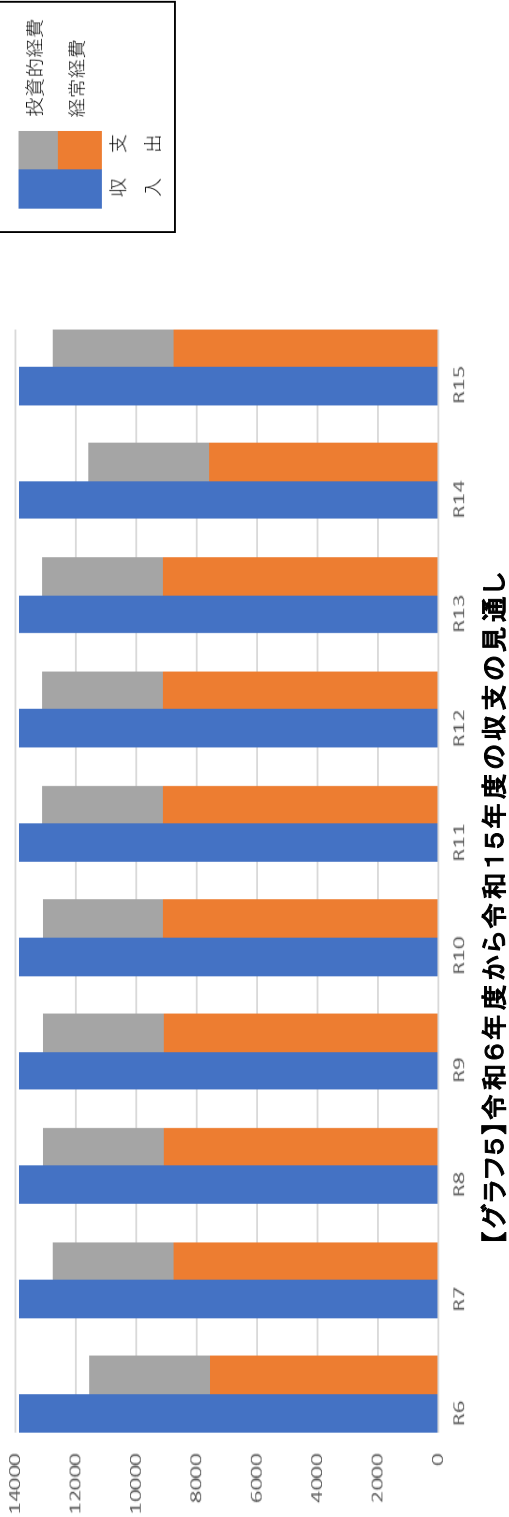
Ⅳ－３ 収支計画

Ⅳ－１及びⅣ－２の考え方に基づき、令和６年度から令和１５年度までの財政計画を【表２３】のとおりとします。

【表23】令和6年度から令和15年度までの財政計画

(単位:千円)

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	備考
歳入	駐車場使用料	13,835	13,835	13,835	13,835	13,835	13,835	13,835	13,835	13,835	13,835	
	その他	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	
	合計	13,879	13,879	13,879	13,879	13,879	13,879	13,879	13,879	13,879	13,879	
歳出	経常経費	1,526	1,531	1,536	1,541	1,546	1,551	1,556	1,561	1,566	1,571	人事院勧告による平均値より算出
	人件費	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	消耗品、光熱水費、修繕料
	需用費	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	
	委託料	1,636	2,835	3,168	3,168	3,168	3,168	3,168	3,168	1,623	2,811	
	賃借料	628	628	628	628	628	628	628	628	628	628	
	公課費	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	役務費、負担金
	その他	7,545	8,749	9,087	9,092	9,097	9,102	9,107	9,112	7,572	8,765	
計		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	用地買戻しにR15基金充当分は含まれていない(6,712千円)
投資的経費		11,545	12,749	13,087	13,092	13,097	13,102	13,107	13,112	11,572	12,765	
費用合計		2,334	1,130	792	787	782	777	772	767	2,307	1,114	
余剰金(基金への積立金)		駅南料金システムリリース満了	駅北料金システム・監視カメラ入替					カメラ入替		駅北面機システムリリース満了	駅南料金システム入替	
付 記		23,814	24,944	25,736	26,523	27,305	28,082	28,854	29,621	31,928	33,042	※利子は見込まず
駐車場整備基金年度末残高		42,712	38,712	34,712	30,712	26,712	22,712	18,712	14,712	10,712	6,712	総額:153,711千円
用地買戻し 年度末残高												



V 効率化・経営健全化の取組

V-1 駐車場の統廃合

新型コロナウイルス感染症の影響により綾部駅南駐車場では利用が大きく減少し、コロナ前は70～80%の稼働率でしたが、30%まで落ち込み、緩やかに回復しつつあるものの50%程度という状況です。

また近接する天神町駐車場の定期駐車も減少傾向にあります。

加えて、駅周辺には民間による月極駐車場が一定数あり、市が定期車を運営する必要性は低くなってきていると言えます。

一方で定期車は駐車場特別会計において安定的な収入源であり、特に収入と運営経費が拮抗している状況下では経営を安定的に持続するためにも欠かせない財源となっています。

このような状況を踏まえ、天神町で実施している定期車を暫定的に綾部駅南駐車場の空き区画に移行し、現在の収入を一定確保したまま綾部駅南駐車場への集約化を図ります。

その上で、普通駐車場の利用の状況、会計全体の収支状況が好転すれば、定期車を縮小していく検討を進めます。

なお、天神町駐車場は都市計画駐車場として都市計画決定されていますが、機能は綾部駅南駐車場で代替できるため、都市計画を廃止し新たな土地利用への転換を検討します。

【表2-4】駐車場再編後の駐車枠数

	普通駐車	定期駐車		普通駐車	定期駐車
天神町駐車場	0台	56台		廃止	
綾部駅南駐車場	90台	0台		40台	50台
綾部駅北駐車場	45台	20台		45台	20台

V-2 利用しやすい料金設定

普通駐車場の利用は、令和4年度からパークアンドレール駐車場制度が廃止となったことにより、駐車時間に応じ料金が加算されていくことから、JR特急利用者の料金負担が増加することとなりました。

民間駐車場や近隣市の公営駐車場では最大料金を設定している施設が多くなっている状況の中、本市の駐車料金が高いというイメージが強くなっており、そのことが市営駐車場の利用者が回復しない、利用を控える一因にもなっていると考えられます。このため最大料金を設定し利用しやすい料金にすることにより需要を喚起します。

【表 2 5】普通駐車 新料金（案）

区分	基本料金	超過料金	最大料金
	入庫～1時間まで	1時間を超え1時間ごと	入庫から24時間ごと
改定案	200円	50円	500円
現行料金	200円	50円	設定なし

※いずれも駐車 1 回につき

なお、上限料金の設定に伴い夜間駐車券及びプリペイドカードは廃止を検討します。
また、現在、入庫から 15 分間を無料とする運用を行っていますが、利用者の需要に鑑み、入庫から 30 分までを無料とするよう検討します。

【表 2 6】料金改定による影響額の試算

	R5 決算見込	料金改定後の 収入予測	影響額
普通駐車	8,117,350	6,019,400	-2,097,950
利用券	1,009,000	225,000	-784,000
夜間券廃止による普通駐車増加分		1,500,000	1,500,000
無料駐車時間の拡大による減収分		-219,000	-219,000
定期駐車	4,709,600	4,709,600	0
合計	13,835,950	12,235,000	-1,600,950

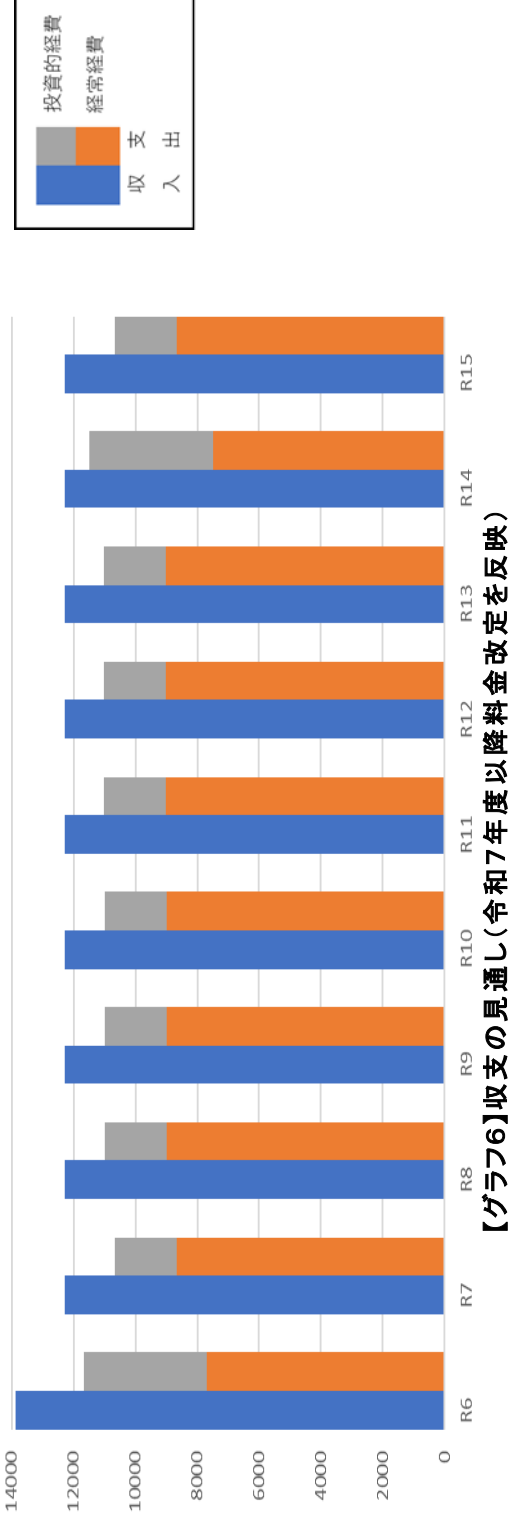
※普通駐車：実利用データから抽出したサンプルデータでの試算結果を令和 5 年度の決算見込みに反映させた金額に、料金改定による利用者の増加を 5% として上乘せした。

※料金改定により収入額の合計はマイナスとなるが、通常の運営管理費は【表 2 7】で示すとおり年間 9,500 千円程度であるため収支はマイナスにならない。

【表27】令和6年度から令和15年度までの財政計画（令和7年度以降料金改定を反映）

（単位：千円）

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	備考
歳入	駐車場使用料	13,835	12,235	12,235	12,235	12,235	12,235	12,235	12,235	12,235	12,235	
	その他	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	
	合計	13,879	12,279	12,279	12,279	12,279	12,279	12,279	12,279	12,279	12,279	
歳出	経常経費											
	人件費	1,526	1,531	1,536	1,541	1,546	1,551	1,556	1,561	1,566	1,571	人事院勧告による平均値より算出
	需用費	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	1,193	消耗品、光熱水費、修繕料
	委託料	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	
	賃借料	1,636	2,835	3,168	3,168	3,168	3,168	3,168	3,168	1,623	2,811	
	公課費	761	529	529	529	529	529	529	529	529	529	
	その他	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	役務費、負担金
	計	7,679	8,651	8,989	8,994	8,999	9,004	9,009	9,014	7,474	8,667	
	投資的経費	4,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000	2,000	用地買戻し
	費用合計	11,679	10,651	10,989	10,994	10,999	11,004	11,009	11,014	11,474	10,667	
余剰金（基金への積立金）		2,200	1,628	1,290	1,285	1,280	1,275	1,270	1,265	805	1,612	
付 記		駅南料金システム・監視カメラ入替	駅北料金システム・監視カメラ入替				監視カメラ入替			駅北料金システムリース満了	駅南料金システム入替	
駐車場整備基金年度末残高		23,680	22,052	23,342	24,627	25,907	27,182	28,452	29,717	30,522	32,134	※利子は見込まず
用地買戻し 年度末残高		42,712	40,712	38,712	36,712	34,712	32,712	30,712	28,712	24,712	22,712	総額:153,711千円



V―3 天神町駐車場廃止後の土地利用

駐車場の統廃合により市営駐車場の機能を廃止する天神町駐車場は、市街地中心部の利便性の高い地域に位置することを踏まえ、本市のまちづくりに資する土地利用の検討を進めます。

土地利用については、市が中心市街地の活性化に資する土地利用について計画を示し、市が提示する土地利用計画に合致する事業者による活用を原則とします。

また、民間事業者により事業を進める際は、原則として土地は事業者に売却するものとし、売却益については、駐車場整備基金等に積み立てを行い今後の駐車場整備等に活用することで効率的な経営につなげます。